

## まっくろネリノ

ヘルガ＝ガルラー 作  
やがわすみこ 訳



偕成社 1973年 1000円

小鳥のネリノは、兄弟でひとりだけまっくろです。きれいな色の兄さんたちからなかまはずれにされていて、自分もきれいな色になりたいと思っています。ある日、あんまりきれいなので、兄さんたちが人間につかまえられてしまいました。ネリノはまっくろい体を利用して、夜の闇にまぎれて兄さんたちを助けに向かいます。背景の地の色をいかした柔らかい印象のバステル画が効果的です。

## ママ、ママ、おなかがいたいよ

レミイ・シャーリップ／バートン・サプリー 作  
レミイ・シャーリップ 絵  
つばいいくみ 訳



福音館書店 1981年 1300円

男の子が「ママ、ママ、おなかがいたいよ。」と言います。男の子のお腹は風船みたいにばんばんです。お母さんは大慌てでお医者さん呼びます。お医者さんがお腹の中を調べてみると、あおりんご、ボール、バースデーケーキ丸ごとなどが次々に出てきて、おしまいに自転車まで出てきます。お腹の中から出てくるものだけが彩色された影絵風の絵は、ナンセンスなストーリーとよく調和しています。

## みんなうんち

五味太郎 作



福音館書店 1981年 838円

「おおきいぞうはおおきいうんち ちいさいねずみはちいさいうんち」「とまってうんち あるきながらうんち」「みずべでうんち みずのなかでうんち」など、人間も含めたいろんな動物のうんちの種類やしかたを描いています。そして、「いきものはたべるから みんなうんちをするんだね」と、子どもにとって興味のあるうんちの大切さを教えてくれます。ユーモラスな絵が親しみやすい絵本です。